

# リモテラス公益施設（仮称）整備 概要

## 施設の位置づけ

### リモテラス構想 （第5次長久手市総合計画の主要プロジェクト）

長久手古戦場駅前にまちの新たな顔として「リモテラス」を整備し  
住民の日常の暮らしを支え、訪れる人をもてなす空間を創出する。



### リモテラス構想の推進拠点が「リモテラス公益施設」

本市を特徴づける象徴的な要素として、「大学連携」「観光交流」  
「多文化共生」「子育て支援」の4つのテーマが息づく公益施設を計画。

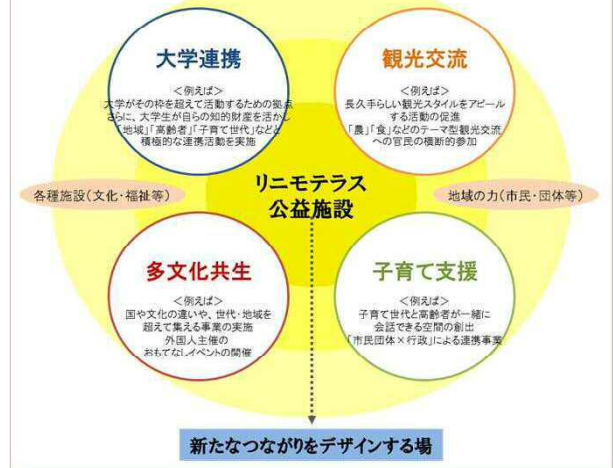


## 施設コンセプト

### 「新たなつながりをデザインする場」

長久手らしさや若者たちの関心事などから抽出できるキーワードを核に、「学生」「社会人」「主婦（夫）」「高齢者」「行政」などがそれぞれに収まることなく、世代を超えて新たなつながりを生み出す場づくりを目指します。

リモテラス公益施設は、4つのテーマを軸にしながらも、その枠にとらわれず多様なテーマ・分野とのつながりのデザインが可能なプラットフォームとします。



## 施設コンセプトを推進するための3つのしくみ

### しくみ1

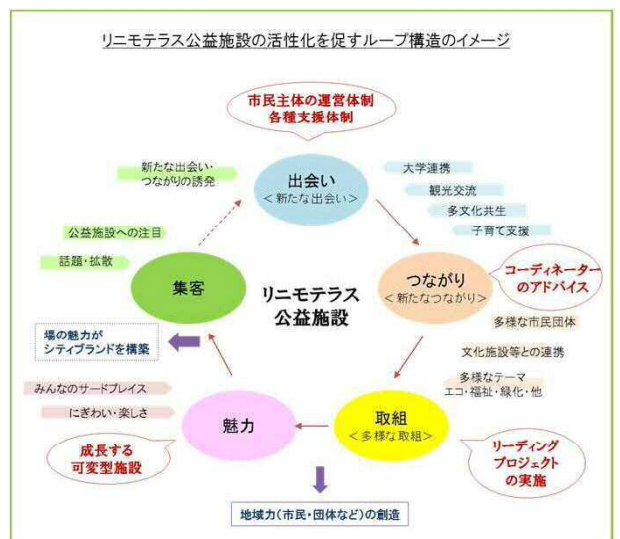
「出会い」「つながり」を生み出すしくみ

### しくみ2

つながり・連携による「多彩な取組」を促すしくみ

### しくみ3

場における「つながりの魅力」を継続・成長させるしくみ



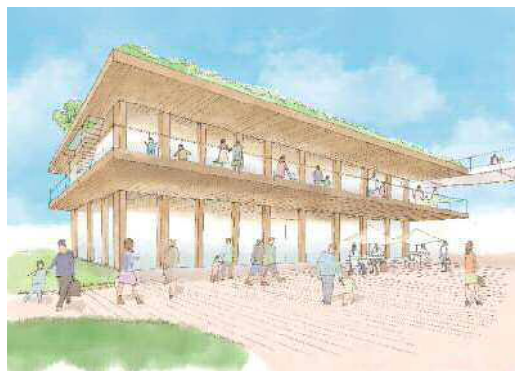
3つのしくみを推進役とした「場」の成長構造

## 施設運営について

リニモテラス公益施設の管理・運営については、「市民主体」の考え方を基本に、多くの全国事例などを参考にしながら、多様な主体とのつながり・連携を可能にする、施設コンセプトに最もふさわしい手法を採択します。

## 施設整備の基本方針

- 開放感** 屋上緑化によるくつろぎ空間の創出 外から中が見える施設づくり  
屋外の2号公園との一体的な活用ができる構造
- 未完の場** フレキシブルな会場利用ができる空間づくり  
成長する公益施設→利用欲求の変化への対応力
- 連携構造** 施設と2号公園の連携活用の促進 古戦場公園等との景観配慮  
大型商業施設の集客利用→デッキ等の動線確保
- 環境への配慮** 壁面緑化や木質構造など、自然との親和性への配慮  
雨水利用、太陽光発電など、資源の有効活用



## 今後のスケジュールについて

	ハード	ソフト	
平成29年度		運営組織育成支援	管理・運営手法の検討
平成30年度	基本設計・実施設計	運営組織育成支援	管理・運営準備期間
平成31年度	工事	運営組織育成支援	管理・運営準備期間

平成29年度は、リニモテラス公益施設（仮称）運用開始後に実施していく取組の実証実験的な位置づけのプロジェクトとして100プロジェクトを実施します。このプロジェクトは、市民が企画・運営を行い、数多くのプロジェクトを実施し、運用開始後の取組を想定しつつ、より良い運営方法や運営組織のあり方について検討を進めるものです。さらに100プロジェクトを実施していくことでリニモテラス公益施設（仮称）の認知度を高め、主体的に関わってくれる市民を発掘し、合わせて市民意見収集の場としても活用します。

100 PROJECT  
NAGAKUTE